

たまたまタイムス Vol. 3

海老天たまこの土鈴と張り子



たまたまタイムスも第3号を発行することとなりました。今回も新作を中心に行事や伝説、歴史や風物。それらを感じ取って作った土鈴や張り子を紹介します。第1号、第2号と合わせてお楽しみいただければ幸いです。また、お気に入りのものがありましたら是非現物を手に取ってご覧ください。

1) 源氏物語の貝合わせ土鈴

(書・松本清子)



源氏物語は、平安時代中期・西暦1000年頃に、作者・紫式部によって書かれた世界最古の長編小説です。

その内容は、帝の御子でありながら源氏という臣下の身分に落とされ、皇位継承権を失った皇子(光源氏)の王権復活の物語で、当時の王朝貴族の華やかかなりし時代を背景に語られています。

各帖の名場面と歌をペアとして貝型の土鈴を作成しました。今は第6帖までですが、今後、全54帖をそろえる計画です。

2) 土鈴絵付け体験コーナー(ワークショップ)で私だけの招き猫を作ろう



イベントで土鈴の絵付け体験コーナーを開いています。

招き猫の他、ペンダント土鈴や干支土鈴等もあります。

どこかのイベントで見かけたらぜひ参加してみてください。

3) ハロウィンの土鈴



ハロウィン土鈴、ジャックオーランタンやコスプレ土鈴の色々。 絵葉書も作りました。

4) 真田丸の土鈴

真田丸関連土鈴です。

大坂城を護る真田幸村(信繁)と真田幸村出陣姿2種。赤備えが目を引きま。

また、お城の土鈴もシリーズで揃えています。大阪城、姫路城、岡山城、安土城、犬山城、郡上八幡城、・・・。



5) 落語土鈴



狸賽



動物園



天狗裁き

落語土鈴の新作です。第30作目・狸賽(たぬさい)、第31作目・動物園、第32作目・天狗裁き。100作品を目標にシリーズ展開中です。現在のラインナップは……………

落語土鈴 ラインナップ

No.01 看板のピン	No.02 頭山	No.03 牛ほめ	No.04 鷺とり	No.05 池田の猪買い	No.06 蛇含草	No.07 蛸芝居
No.08 首提灯	No.09 高津の富	No.10 鬼の面	No.11 猫の災難	No.12 猫の茶碗	No.13 猫の忠信	No.14 死神
No.15 天神山	No.16 馬の田楽	No.17 時うどん	No.18 蔵丁稚	No.19 寿限無	No.20 饅頭怖い	No.21 鼻ねじ
No.22 犬の目	No.23 七度狐	No.24 始末の極意	No.25 不動坊	No.26 目薬	No.27 住吉駕籠	No.28 猿後家
No.29 いたりきたり	No.30 狸賽	No.31 動物園	No.32 天狗裁き	No.33 ? coming soon	番外 繁昌亭とてんてん	



落語土鈴は上方落語の聖地・天満天神繁昌亭や池田市の落語みゆーじあむの売店でも販売いただいています。繁昌亭の土鈴やマスコットキャラ・小梅亭てんてんちゃんの土鈴もあります。

6) ウルトラキャラと猫怪獣土鈴

ウルトラマンで有名な円谷プロさんとのご縁で出来たウルトラ怪獣の土鈴もラインナップが広がりました。昨年のバルタン星人、ツインテール。怪獣図鑑に加えて、レッドキング、ペギラ、カネゴン、ジャミラも。



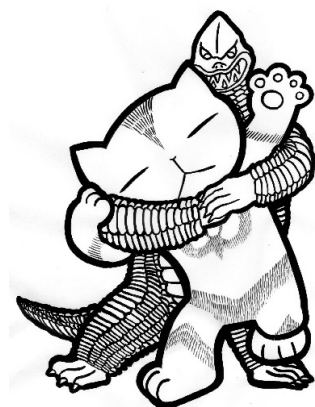
猫怪獣 vs レッドキング



猫怪獣 vs ペギラ



カネゴン & 猫怪獣



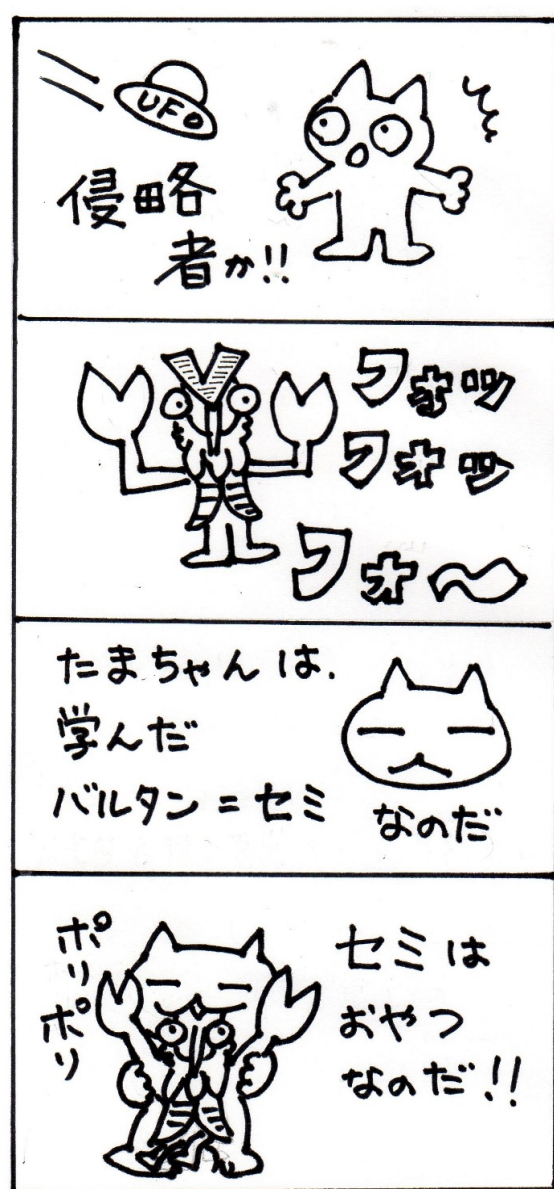
ジャミラごっこ



土鈴 猫怪獣 vs バルタン星人
好評につき、制作・販売延長です。
(2017年3月末まで)



蝉取り猫土鈴
夏目漱石の「吾輩は猫である」土鈴
シリーズより



円谷プロ
承認シール

7) 申(サル)の干支土鈴

2016年(平成28年)の干支は丙申(ひのえ さる)です。そこでお猿さんの干支土鈴も色々作りました。



8) 箱入り娘の会の土鈴

土鈴の愛好家と土鈴作家が協力して12個セットの土鈴を作りました。
 テーマは「日本の四季」、季節を感じる土鈴が揃いました。
 海老天たまこも会員として1個、作家として3個の土鈴を作りました。



外観

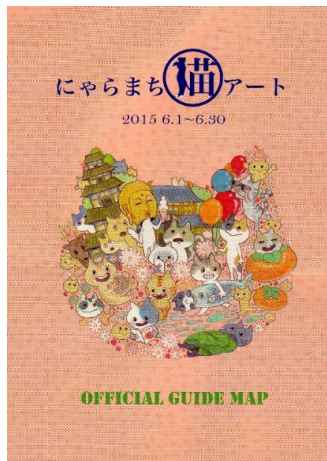


土鈴一覧 各々は3cm×3cm×4cm以内の小さな土鈴です。

「箱入り娘の会」は隔年実施のため、次回は2017年春にスタート、2018年春に完成の予定です。
 参加ご希望の方はお知らせください。

9) イベント

2015年5月～2016年4月の一年間に参加した主なイベントです。土鈴ファン拡大を目指してこれからも機会を作って参加予定です。作品出品やワークショップの開催を行いますのでお立ち寄りください。

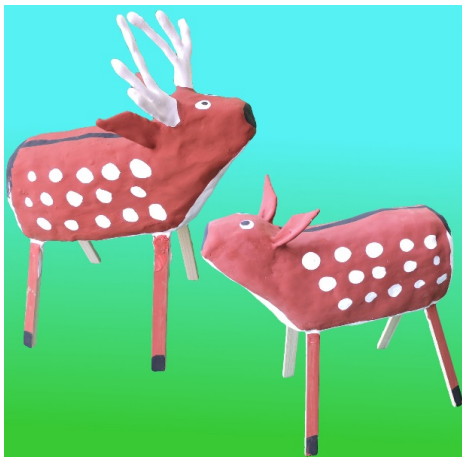


10) その他の土鈴たち

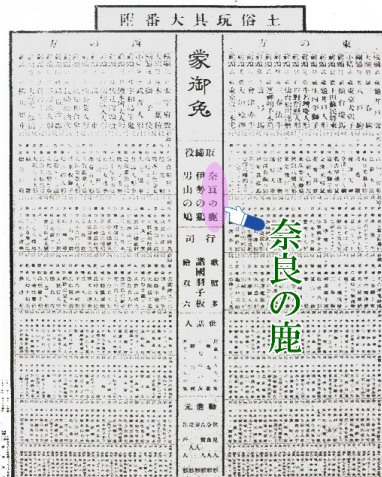
その他の土鈴たち、色々あります。



11) 張り子



吉野和紙を使って、現在途絶えている奈良の伝統的民芸品の鹿張り子を作りました。



土佐和紙を使った黒潮招き猫

12) 作者紹介

海老天たまこ 岡山県倉敷市出身、現在、奈良県奈良市在住
備中張り子倶楽部所属、神戸土鈴友の会会員
岡山や奈良を題材にしたもの、猫・饅頭喰い・妖怪のキャラクタ、古事記、神話、古典落語をテーマにしたもの等、ユニークな視点で土鈴や張り子の創作を進めています。

作品の一部はホームページでも公開されています。このカタログに掲載されていない作品もたくさん紹介していますので是非パソコンでご覧ください。
(URLはこちらです。 http://book.geocities.jp/ebiten_tamako/index.html 掲示板もあります。)
「こんなの欲しい。」「この作品が好き!」、その他ご意見感想等がありましたらメールまたは掲示板への書き込みにてご連絡下さい。



お問い合わせは 〒630-8144 奈良市東九条町1129の3 吉田 満 まで
電話: 090-7110-2091 メールアドレス: miyosida@hotmail.com

海老天たまこ 土鈴

検索